



# むなかた市議会だより

令和3年9月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集委員会  
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号  
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591  
●市議会ホームページ=http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html

過去最大額  
**令和2年度決算を認定**

一般会計

歳入 487億7546万円  
歳出 475億 560万円

令和3年第3回宗像市議会定例会が、8月27日から9月22日まで27日間で開催され、市長提案の議案28件、意見書案1件について審議を行いました。

本定例会では、皆さんが納めた税金などがどのように使われたのか、8つの会計の令和2年度決算審査を2つの特別委員会で行い、全ての会計の決算を認定しました。

## 令和2年度決算審査の内容

歳入は前年度比で約29%増、歳出は前年度比で約30%増で過去最大の決算額となりました。新型コロナウイルス感染症対策経費として総額122億円を要したことが大きく影響しています。また、令和2年度の事業実績として、以下のような報告がありました。

### ●新型コロナウイルス対策

緊急経済対策として、市民に一律10万円を給付。また、市独自の事業者支援として、宗像市小規模事業者緊急支援金を交付したほか、創業者向け臨時応援補助金の交付や「宗像を元気にしタイ！券」、商工会と連携したプレミアム商品券を発行し消費喚起を促進。

### ●公共交通の再編

白の里地区において、AI活用型オンデマンドバス導入を検討し、実証運行を開始。

### ●ふるさと寄附

と寄附を通じて税外収入を増やすため、返礼品を86品目増やして587品目とした。寄附金額は前年度を上回る15億2379万円。



### ●障がい者支援

障がい者福祉特性に応じた障害福祉サービスを提供し、障がい者の社会参加や経済自立に向けた支援を行い、16人の一般就労が実現。

### ●保育環境の充実

認可保育所2施設（野ばら保育園ユリックス分園、ひかり幼稚園ひのさと分園）を設置し、3歳未満児の保育の受け皿を拡大。

### ●GIGAスクールの推進

GIGAスクールの構想に基づき、令和3年度からタブレットを活用した授業を実施するため、市立学校の全児童生徒へ1人1台タブレット端末を配付。また、校内の高速大容量通信ネットワーク整備を実施。



（※）2年度決算の詳細は、本号（11月1日号）のむなかたタウンプレス4～5ページ参照

## 令和3年度一般会計補正予算（第5号）について

全員賛成で可決

歳入歳出をそれぞれ19億2025万1千円増額し、374億551万9千円とする補正予算が提案されました。

今回の補正予算では、国からの交付金を財源に、新型コロナウイルス感染症対策などの経費や防災・減災対策が計上されています。

### ■主な内容

- 学校・公共施設の手洗い器の自動水栓化 …… 1942万3千円
- 市立学校・公共施設におけるトイレの手洗い器を自動水栓化する工事を実施
- 学校教職員の顔認証出退勤システム導入 …… 1703万9千円
- 市立学校に非接触式温度検知機能付きの顔認証出退勤システムを導入
- 保育所のICT化 …… 795万5千円
- 保育士用のタブレットやパソコンの配置に対する補助を実施
- 地域事業者への支援 …… 6億7911万円
- 新たなデジタル技術の導入などを実施する市内事業者への補助金を交付
- 対象月の売上が、昨年または一昨年の同月比で30%以上減収した中小事業者などを対象に、20万円の応援金を支給
- クラウドファンディングを活用した先払い応援チケット「宗像を元気にしタイ！券」第3弾を発行
- キャッシュレス・ポイント還元キャンペーンの実施
- 宿泊割引券と地域クーポンなどをセットで販売し、宿泊客の誘客と観光消費の喚起を図る宿泊キャンペーンの実施
- 防災・減災の強化 …… 1億816万円
- 指定避難所のデジタル化や赤間西小学校への避難路整備工事
- 令和3年8月大雨に伴う災害復旧工事

### ■主な意見

#### （賛成者の意見）

▽市立学校の手洗い器の自動水栓化や学校教職員の顔認証出退勤システム導入により、子どもたちが新型コロナウイルス感染症から守られることを期待するといった意見がありました。

### 主な意見

#### 《賛成者の意見》

▽新型コロナウイルス感染症対策や度重なる自然災害などへの迅速な対応、コロナ禍においても安定した財政運営、大型の企業誘致の成功、改善提案書に対する細やかな対応などを評価する意見がありました。また、財政調整基金を維持しつつ稼働力の強化を行ってほしい、市職員の専門職確保の方策を検討してほしい、

#### 《反対者の意見》

▽デジタル化の推進とデジタル弱者への支援策を並行して行ってほしい、あらゆる人権の差別を解消するという立場で人権対策を行ってほしい、大島へき地保育所における3歳未満児入所を検討してほしい、県立特別支援学校の建設は子どもたちの命を最優先に進めてほしいといった意見や要望がありました。



全員賛成で可決

## 空き家対策の推進に関する条例の検討審議会を設置

新たに附属機関を設置するため、条例の一部を改正する提案がされました。現状では、管理不全な空き家が危険な状態にさらされている場合でも、空家等対策の推進に関する特別措置法に緊急措置に関する規定がないため、対応までに時間を要する状況が発生しています。このことから、地域の実情に応じて迅速で効果的な空き家対策を行えるよう新たな条例の制定を目指すため、宗像市空家等対策の推進に関する条例検討審議会を設置するものです。

審議会の委員は、大学教授、司法書士などの有識者、行政機関職員および市民代表が想定されています。



危険な状態の空き家

令和3年9月定例会

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和3年8月31日から9月3日の4日間にわたって、19人の議員が合計31項目の質問を行いました。

- ◆質問を行った順に掲載しています。
- ◆掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。
- ◆質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは11月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



**ゼロカーボンシティを目指して**  
宗像志政クラブ／安部 芳英



**問** 本市は「環境基本計画」や「SDGs 未来都市計画」を策定し、まちづくりを進めているが、2050年CO2排出実質ゼロに向け、世界の動向を踏まえ一歩踏み出す時期に来ていると考えられる。災害が頻発し、農林水産業をはじめ多くの生活の深刻化も懸念される中で、早急にゼロカーボンシティ宣言を表明し、脱炭素社会実現のリーダーシップを執るべきであると考えられるが、市長の考えは。

**答** ゼロカーボンシティ宣言をはじめ、まちづくりに脱炭素の考え方を据えることについて、早急に、総合的に検討したい。環境政策を進めるに当たり、環境政策に特化した専門部署が必要ではないかと考えている。ゼロカーボンシティなどの環境政策全般を今後のまちづくりに活かすため、それに対応した組織改編についても柔軟かつ積極的に行いたい。



**田舎暮らしの中で気になると**  
未来むなかた／北崎 正則



**問** 玄海地区での不用品回収所や解体所などの現状をどう把握しているか。

**答** 5力所ある。不用品回収所に対しては、市県と現地確認をしている。自動車引取・解体業は県の登録許可のため、県が確認を行っている。

**問** 回収品から廃油が漏れ出た場合や不法投棄とみなされる場合、市はどのように対応するのか。

**答** 県と連携し事業者に対策を講じるよう指導する。不法投棄の疑いがある場合は、警察の指導が入ることになる。

**問** 地域住民の不安排除に努めてほしいが、市長の考えは。

**答** 地域住民が安心して生活できるように、実情をよく聴き、許可権者の県に対してはより良い方策を検討いただくなど、対応の強化を求めていく。

**その他の質問**  
今、宗像の漁業に必要なことはPart 2



**持続可能な産業の確立について**  
宗像志政クラブ／森田 卓也



**問** 今年度実施する竹林対策事業の内容は。

**答** 森林環境譲与税を活用し竹林を広葉樹などに転換する事業および竹を粉砕処理する事業にかかる費用に対し助成を行う。

**問** 森林や竹林を地域資源とした産業の活性化についてどう考えているか。

**答** 産業の活性化への可能性は十分にある。

**問** 他自治体の竹林整備モデルを、本市でも地域の稼働力を引き出す仕組みづくりの取り組みとして支援してはどうか。

**答** 放置竹林対策として効果の高い取り組みは積極的に取り入れたい。

**問** 全国的に少しずつ広がっている放置竹林を活用したメニューの製品化・販売などの取り組みを総合的に支援できないか。

**答** 放置竹林は地域課題であり行政の課題でもある。関係者の意見を聞きながら、必要な支援を検討したい。

**問** 市営体育館や屋外スポーツ施設の方向性は。

**答** 市営体育館については、いずれも築約40年が経過しており、次期宗像市スポーツ推進計画で方向性を示したい。

**問** 小学校の社会体育における各スポーツ教室では、公共施設使用料が大きな負担になっていると考えるが。

**答** 受益者負担の在り方を検討し、令和元年度から照明代などは実費を負担していただいているが、子どもの社会体育についてはさらなる充実が必要であると考えており、改善できる部分がないか次の使用料改定に向けて議論していく。

**問** 本市の中学校部活動指導員の課題は。

**答** 部活動の実態や要求に見合う人材と人員の確保が困難であり、国や県からのさらなる財政的な支援および強化も大変重要だと考えている。



**通学時の安全確保について**  
宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 各校区でボランティアによる児童・生徒への見守り活動がなされているが、その状況と課題は。

**答** 地域の方やPTA活動の一環として保護者などに協力いただいている。課題は、ボランティアの高齢化や後継者不足により活動人数が減少している地域があることである。

**問** 赤間地区コミュニティ運営協議会の青少年育成部会が作成している通学路のハザードマップや自転車交通安全教室など、他地域に広げられないか。

**答** 先進的な取り組みで

**問** ドローンの有効活用目的で、福岡県ドローン協会と提携できないか。

**答** ドローン協会をはじめ、どのような団体と連携できるのか、活用方法に応じて検討したい。



**商品券事業の目的と今後について**  
宗像志政クラブ／石田 和代志



**問** 宗像市の経済循環率は62%で、38%が市外へ流出しており、金額にして230億円である。この経済循環率を上げることに地域経済の活性化に重要な視点であると考えられるが、商品券事業はどのような役割を持っていると考えるか。

**答** 商品券事業は市内の参加店舗を利用することになるため、市外への資金流出の防止につながり、地域経済循環率の向上に寄与すると考えられる。

**問** 今年度発行される電子商品券「むなかたPay」に、地域通貨としての役割を持たせることも考えられるが、検討しているか。

**答** 地域経済活性化やキャッシュレス推進の視点から地域通貨の検討・研究に着手しており、多くの事例を収集しながら、本市に適した仕組みを引き続き検討・研究していきたい。



**安全安心な生活道路を**  
日本維新の会／岩岡 良



**問** 市内の生活道路の中には、街灯が少なく、危険性が高い箇所がある。防犯灯は、各自治会の費用で設置することになっているが、自治会やコミュニティをまたぐ生活道路については、都市計画道路の意義や立地適正化計画の本旨に照らし、安全安心を守るため「市の責任・費用」において

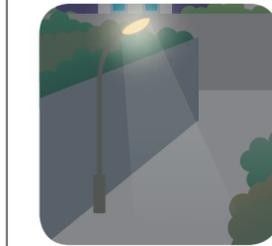
**問** 街灯の設置を行うべきではないか。

**答** 市が設置することも含め、必要性、効果、影響、実現可能性などを協議していく。

**問** 食品ロス削減について

**答** 本市は家庭などで余った食品を福祉施設やフードバンクに寄付をするフードドライブ事業を行っているが、この現状は。

**答** 昨年度は、約6800点、総重量2トンの協力があつた。今後事業の周知・拡大について検討していく。



**中学校の校則見直しを**  
日本共産党／川内 亮



**問** 市立中学校の校則の「ドライヤーはなるべく使用しない」「ストリートパーマ禁止」などは合理性に乏しく、人権上の観点からも改善の余地があると思われる。また違反した場合は「とは制裁予告と解釈されるのでは」。

**答** 今の校則に合理的かつ教育的意義があるか点

**問** がん患者やがん経験者のために、医療用ウィッグや補正具などの助成ができないか。

**答** 県は本年度、アピアランスケア推進事業を創設した。本市は事業内容が対象者に必要な支援かを精査し、他自治体の動向も注視し、検討したい。

(※1) アピアランスケアががん患者やがん経験者が治療に伴う外見の変化(脱毛や爪の荒れ、手術痕や体の部分的欠損など)に対し、その人らしくいられるように外見と共に周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポートのこと。

(※) HPVワクチン・子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を防ぐためのワクチン。



### 玄海地区の産業戦略について

宗像志政クラブ／小林 栄二



### 東郷小学校の将来像について

宗像志政クラブ／井浦 潤也



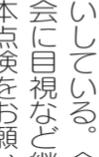
### 子どもの新型コロナワクチン接種

宗像志政クラブ／笠井 香奈枝



### 安心安全の道路インフラの整備

公明党／石松 和敏



### 障がい者が働き暮らせる支援

日本共産党／新留 久味子



**問** どのような産業分野の振興を狙っているか。

**答** 漁業および観光に関する小売、飲食、宿泊業など観光関連産業の振興を考えている。

**問** 宗像大社から大島・地島への動線上にある神湊地区の活性化は。

**答** 地域の中心となる場



神湊漁港

**問** 福祉施設などの日常生活サービス機能を備えたコミュニティ空間を形成するとともに、玄海エリアの特徴を生かして空き家などの利活用を促進し、地域を再生する必要がある。

**答** 小規模な危険区域への対応策と今後の予定は、県の急傾斜地崩壊対策事業を活用し対応していく。玄海地域に介護施設などが隣接する急傾斜地があるため、優先的に実施の研究をしていきたい。

### 土砂災害対策について

**問** 東郷小学校は築約40年が経過し、プレハブ校舎の増築により児童数増加に対応しているが、今後の少人数学級も踏まえ対策は。

**答** 既存施設だけでは教室の転用が限られる。人口の増加が長期間継続するようであれば、将来を踏まえた事業計画を立案し、対応しなければいけないと考える。

**問** 水泳授業の外部委託を進めればプール跡地の有効活用ができるのでは。

**答** 水泳授業の外部委託は、今年度試行的に実施しており、来年度以降も

**問** 東郷小を含め他校での実施を検討している。それが定着すれば、跡地利活用も検討できるかと考える。

**答** アセットマネジメント計画上の改修時期前までに、将来像づくりに向けた取り組みが必要で、全体的な再配置計画の策定に早期に取り組みないか検討したい。



東郷小学校のプレハブ校舎

**問** 12歳から15歳までの子どもに送付された新型コロナワクチン接種券と資料では、情報が不十分である。副反応など重要な説明が書かれていない。生労働省の資料を学校で配布してはどうか。

**答** ワクチン接種を強要するものでなく、正しく理解するためのチラシであれば検討したい。

**問** 子どものワクチン接種に保護者が同伴できない場合の対応は。

**答** 保護者に代わる方の付き添いをお願いしている。情報の周知は、今後新型コロナワクチン接種

**問** 本市の7月から8月にかけての感染急拡大をどう分析しているか。

**答** 若い世代の感染が増加傾向にあった。人流が増えたことで、ここでの感染が家庭に波及したと分析している。



**問** 道路にできた穴やガードレールの故障などの不具合を市民から迅速に市へ通報できるようにLINEなどを活用しては。

**答** LINEの活用は有効。福岡市で既に導入されており、調査したい。

**問** 3月に自由ヶ丘地区20力所の照明灯の地際を非破壊検査し、5力所で更新検討が必要との結果

**問** だが、今後の対応は。

**答** 腐食などの状況を再確認した上で判断する。非破壊検査は有効な手法であり、今後も予算の範囲内で実施していきたい。

**問** 自治会管理の防犯灯の地際を非破壊検査し、9力所で対処が必要との結果だが、今後の対応は。

**答** 9力所については自治会に早急な処置をお願いしている。今後は自治会に目視など継続的な基本点検をお願いし、非破壊検査の活用も言め市が行う調査の時期、方法などは地域と協議したい。



自治会管理の防犯灯の地際を非破壊検査している様子



### 続・宗像のグローバル人材育成は

宗像志政クラブ／吉田 剛



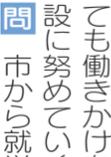
### 学校体育館にエアコン設置を

公明党／岡本 陽子



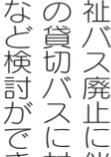
### 新型コロナから市民を守るために

日本共産党／末吉 孝



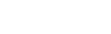
### 障がい者が働き暮らせる支援

日本共産党／新留 久味子



### 高齢者の地域交流と健康

日本共産党／新留 久味子



**問** アフターコロナに求められる人材と本市の目指すグローバル人材は異なる。能力や意欲のあるものにさらなる成長の機会を与え、波及効果を出す教育が必要では。

**答** 公教育では家庭環境の格差の影響を受けない教育施策が必要と思う。宗像市グローバル人

**問** 材育成協議会への海外研修中止の事後報告は残念。協議会での前向きな意見を今後生かしては。

**答** 協議会の意見も踏まえ、可能性を模索したい。

**問** 小中学校の体育館は教育活動の場であり、災害時の避難所としての役割も重要だ。国の補助事業を活用した体育館への空調設置、改築予定の城山中学校体育館の空調設置の予定は。

**答** 学習環境の質的向上、避難所機能向上のため、特に冷房設備を整備する

**問** 必要性は感じている。想定される課題を整理し、実現の可能性を検討したい。城山中学校体育館は当初から空調機を置く予定にはしていない。

**答** HPVワクチン(※)接種対象者への周知や、接種勧奨を控えている期間に接種できなかった市民への救済措置は、積極的に勧奨とならないように高一、中三に個別郵送している。接種機会を逃した人への救済措置の検討は行っていない。

**問** 本市の7月から8月にかけての感染急拡大をどう分析しているか。

**答** 若い世代の感染が増加傾向にあった。人流が増えたことで、ここでの感染が家庭に波及したと分析している。

**問** 偽陰性や検査体制構築の課題がある。

**問** 緊急事態宣言中の市長の会食に関する記者会見が遅れた理由は。

**答** 判断ミスであった。報告が遅れたことは心から申し訳なく思う。

**問** 自らの減給処分は。自ら提案する。

**問** 宗像市大規模太陽光発電設備設置促進条例の運用状況と今後の取り組みは。

**答** 景観維持と森林保全の必要性に鑑み、平成26年に支援制度の適用期間を1年短縮し、平成28年6月末までに変更する条例改正を行っており、現時点で支援の適用期間は

**問** だが、今後の対応は。

**答** 腐食などの状況を再確認した上で判断する。非破壊検査は有効な手法であり、今後も予算の範囲内で実施していきたい。

**問** 自治会管理の防犯灯の地際を非破壊検査し、9力所で対処が必要との結果だが、今後の対応は。

**答** 9力所については自治会に早急な処置をお願いしている。今後は自治会に目視など継続的な基本点検をお願いし、非破壊検査の活用も言め市が行う調査の時期、方法などは地域と協議したい。

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援



**問** 児童生徒数の増加が中長期的にも見込めれば、校舎の整備計画変更に取り組みが必要が出てくるかと考える。



**問** HPVワクチン(※)接種対象者への周知や、接種勧奨を控えている期間に接種できなかった市民への救済措置は、積極的に勧奨とならないように高一、中三に個別郵送している。接種機会を逃した人への救済措置の検討は行っていない。

**問** 偽陰性や検査体制構築の課題がある。

**問** 緊急事態宣言中の市長の会食に関する記者会見が遅れた理由は。

**答** 判断ミスであった。報告が遅れたことは心から申し訳なく思う。



**問** 自らの減給処分は。自ら提案する。

**問** 宗像市大規模太陽光発電設備設置促進条例の運用状況と今後の取り組みは。

**答** 景観維持と森林保全の必要性に鑑み、平成26年に支援制度の適用期間を1年短縮し、平成28年6月末までに変更する条例改正を行っており、現時点で支援の適用期間は

**問** だが、今後の対応は。

**答** 腐食などの状況を再確認した上で判断する。非破壊検査は有効な手法であり、今後も予算の範囲内で実施していきたい。

**問** 自治会管理の防犯灯の地際を非破壊検査し、9力所で対処が必要との結果だが、今後の対応は。

**答** 9力所については自治会に早急な処置をお願いしている。今後は自治会に目視など継続的な基本点検をお願いし、非破壊検査の活用も言め市が行う調査の時期、方法などは地域と協議したい。

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援

**問** 障がい者が働き暮らせる支援

**答** 障がい者が働き暮らせる支援





市の課題解決に向けた人材活用を  
未来むなかた／上野 崇之



問 令和5年度から地方公務員の定年延長制度が始まる。職員配置を踏まえた、今後の市の方針は。  
答 制度導入により、豊富な知識などを持つ60歳以上の職員がフルタイムで働くことで、より適正な職員配置ができることを期待する。技術継承と計画的な職員採用にも努め、組織力を高めたい。

市民連携による  
回地再生の加速を

問 日の里地区都市再生ビジョン策定の狙いは。  
答 UR日の里一丁目団地の跡地活用事業などの



今春オープンしたひのさと48

効果が面的に波及し、将来にわたり地区全体で再生に向けて取り組みが起これることを期待している。  
問 東郷駅周辺の価値向上を進めるために都市再生推進法人を指定しては。  
答 エリアマネジメント活動を担う団体への活動支援の一環として検討している。



市の災害級の大雨の対応について  
市民連合／福田 昭彦



8月12日の夜から停滞する前線の影響で8月15日まで九州を中心に激しい雨が降り、甚大な被害をもたらした。本市も警戒レベル4で避難指示を発令するとともに14カ所の避難所を開設した。  
問 市民の避難状況は。  
答 避難者総数は延べ58人であった。

問 各地の地域防災組織の対応は。  
答 自主防災組織長会議などで改めて聴取を予定しているが、現時点で確認した限りでは、自治会長による個別の声掛け、公民館を自主避難所とし

て開設、市の避難所へ物資の支援などの活動を行ったと聞いている。  
問 市はどのように総括しているか。  
答 現時点では総括に至っていないが、対応が落ち着いた時点で、自主防災組織をはじめとした関係機関の意見をとりまとめたところを報告している。



令和3年第3回宗像市議会定例会 提出議案と議決結果

9月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。すべての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決、承認、同意した主な議案と内容】

Table with 3 columns: 議案番号, 議案名, 内容. Contains items 50, 51, and 73.

【賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)】

Table with 12 columns: 議案番号, 議案名, 議員氏名, 議決結果, and 11 council members' names.

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

委員会中継がより見やすくなりました

定例会の各委員会中継では、説明資料も映すことで、今まで以上に審査の様子が分かりやすくなりました。



予算決算第1特別委員会中継の様子

現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委員会室での傍聴はご遠慮いただいておりますが、今後も分かりやすい映像配信に取り組んでまいりますので、スマートフォン・パソコンなどによるインターネット中継を、ぜひ視聴ください。

意見書

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について  
【全員賛成で可決】

（要旨）  
新型コロナウイルス感染症のまん延により、地方財政は令和4年度においても厳しい状況になることが予想される。将来に向け増加する財政需要に見合う財源確保のための地方税制の充実確保を

国に要望するため、意見書を提出する。  
●令和4年度以降3年間の地方一般財源総額について、ほかの地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう総額を確保すること。  
●固定資産税の根幹を揺るがす見直しは断じて行わず、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。  
●土地に係る固定資産税の負担調整措置については、令和3年度限りとする。

12月定例会の日程

Table with 2 columns: 日程, 内容. Lists dates from 17th to 30th and corresponding meeting topics.

●自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減のさらなる延長は断じて行わないこと。  
●炭素に係る税を創設または拡充する場合、その一部を地方税または地方譲与税として地方に税源配分すること。

※1 予算第1：一般会計  
※2 予算第2：特別会計・企業会計  
▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。  
▼請願の提出締切日は11月22日(月)です。  
▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。



市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。



ホームページQRコード

宗像市議会 検索

お問い合わせは 議会事務局へ Tel.0940(36)1119

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

編集後記  
今回の議会では議長を除く、19人全員が一般質問を行いました。  
市政に対して様々な視点を持つ各議員の取り組みをご覧いただければ幸いです。議会への関心が住みよい街をつくるべく、大事なポイントだと感じています。市民目線で分かりやすく、毎回興味を持って読んでいただいている紙面を今後も目指していきたいと思っております。  
(石松 修)